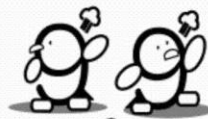


2011年12月号

平和憲法を守ろう!

9 ひらつか



9条の会 ニュース

文責：事務局長 司法書士 大谷 潔 TEL0463-24-0702/FAX 24-0712

連絡先：〒254-0811 平塚市八重咲町2番8号エクセルビル3階 平塚松風司法書士事務所

Email: matsukaze@mb.scn-net.ne.jp

ホームページ：http://www.geocities.jp/hirakujojp/

平塚市の戦跡めぐり (二)

昭和二〇年七月十六日、B29爆撃機百三十二機により、千百六十二機の焼夷弾が投下されました。この平塚大空襲により、平塚市の大部分が灰と化し、三百人以上の市民の尊い命が奪われました。(戦災地図参照)

当時の平塚市は、第二海軍火薬廠の他、日本国際航空工業・横須賀海軍工廠平塚分工場・第二海軍航空廠など、大規模な軍需工場が集中した軍事都市でした。(平塚市ホームページより)



9条と憲法審査会

★憲法9条などの条続きなどを論議ため、十七日に衆議院で、で開催された。

★その二日前(十五)つくる新憲法制定議(曾根康弘元首相)は事態に対応して総理し、通信の自由や財産などの条項をテールことなどを話し合っ★二〇〇七年、安倍に国民投票法を強行が新たに衆参両院に正を具体的に進めてしかし、安部首相の間「投票権十八歳以上整備や「公務員の政の基準づくりなどは★憲法審査会の論議から、「国家存亡の危民の権利を制約すべ相次いでいる。国会事故に力を注ぐべき憲法改正か!

第 30 回定例学習会報告

『わが憲法を次世代へつなぐために』

加藤俊光（事務局）

11月26日（土）午前10時から、中央公民館3階のA会議室で行った。参加者は12名。



各種の世論調査を見ても、国民の憲法改正に対する姿勢は極めて冷静かつ賢明であり、抽象的に安全保障上の危機あるいは脅威をあおるという手法では大半の国民は改憲になびかない。とはいえ、多くの国民が護憲派の主張に対して理解あるいは賛同しているとも言い難い。

改憲派勢力は、これまで憲法改正の機運を盛り上げるために様々なテーマづくりを行ってきたがいずれもなかなか功を奏さず、ついに憲法改正手続の緩和をしようとしている。一方で、護憲派勢力は支持層の固定化・高齢化をどう克服していくかについて今後の姿勢が打ち出せないでいる。

憲法のゆくえは、いかに若い世代が関心をもてるテーマを作れるかにかかっており、従来の『護憲か改憲か』『保守か革新か』という枠組みを超えて、若い世代が関心を持てるようなテーマを人権規定の中に見出して伝えていくことが必要ではないかと結んだ。

会場からは、原発や放射能問題に対しては高校生や若いお母さんの関心が非常に高いことを挙げて、我々の日々の生活そのものが憲法に守られていることをこれまで以上に分かりやすく伝えていく必要があるとの意見があった。

活動報告

「平和憲法を守ろう」11月3日署名と宣伝活動

吉田 貞夫（事務局）

11月3日は文化の日であるとともに、日本国憲法が公布された記念日です。「ひらつか・9条の会」は、平塚駅北口で、午後1時30分から1時間、平和憲法を守ろう賛同署名と会独自のミニパンフを配布し、ハンドマイク宣伝を行いました。参加者は10名。パンフは約400枚配布しました。署名は60筆集まりました。

署名をしてくれた女性の中に、「私は、あの戦争中、中国大陸へ従軍看護婦として招集されました。若い女性として、大変苦しい経験をしました。あの頃のことは今でも決して忘れません。」と怒りを込めて語ってくれました。私は、「今度は是非、若い人たちにその体験を語ってください。」とお願いしました。戦争体験はまだまだ語り尽くされていないと感じました。



憲法を巡る動向

憲法審査会始動

事務局長 大谷 潔

11月17日衆議院の憲法審査会が初審議

各党代表者が意見を述べた後、自由討議となった。

【民主党】災害復興が最優先課題。憲法論議の優先順位は下がるが国会での議論は必要。

【自民党】国民投票法の宿題をやるべき。大震災を受けて、非常事態条項を憲法に設けるべきだ。

【公明党】基本的に変える必要はないが、環境権・プライバシー権など追加する余地はある。「加憲」

【共産党】憲法審査会の開催に反対。この憲法審査会も自民党との妥協の産物だ。

【社民党】改憲には反対。国の役割は憲法の理念を実現すること。

【みんなの党】国の形を見直すべき時期だ。道州制、一院制、憲法改正の発議要件など。

【国民新党】非常事態条項を設けるべき。自主憲法制定のため議論したい。

11月28日参議院でも初審議

各党から意見表明が行われた。

【民主党】会派を超えて議論を進め、穏健で良識的な合意を形成する努力を積み重ねるべきだ。

【自民党】多くの課題を抱える現在だからこそ、国の形について国民的議論を行うべきだ。

【公明党】基本的には「護憲」だが、付け加えるべき点があれば加えるべきだ。

【みんなの党】憲法改正の要件に柔軟性を持たせ、道州制、首相公選制を考えるべきだ。

【共産党】国民は憲法改造を求めている。憲法が震災復興に生かされていない。

【立ち上がれ日本】基本的人権の制限を含めた緊急事態条項を定め、自衛隊を軍隊と明記すべきだ。

【社民党】憲法改正の審議に反対する。憲法改正手続法を抜本的に見直すべき。

【国民新党】自主独立国家として主権を維持するためには憲法改正が必要だ。

基本的人権を制限することができる「非常事態条項」と憲法改正の発議要件を緩和する改正案が当面議論の俎上に上りそうだ。注意深く監視する必要がある。



投稿

核実験と私

第二次大戦後、アメリカとソ連は競って核兵器の開発をし、アメリカは北太平洋のビキニ環礁核実験を頻繁に行った。そのためこの地域はもとより世界中が核物質で汚染されていた。日本の片隅に居た幼子の耳にも（ストロンチウム 90）とか（プルトニウム）といった核物質の名前が入ってきた。「〃ビキニ環礁〃というところでアメリカが原爆の実験をしている、アメリカはまた何処かに原爆を落とすに違いない。ソ連と戦争するつもりだろうか」、大人達は口々にこのようなことを言っていた。「原爆」という言葉とそれを口にする大人達の緊張した様子に恐れを抱いた幼子は、戦時中、平塚を襲った空襲の体験をよく話す姉に、「原爆って何？、空襲の爆弾のこと、また空襲が来るの。あの戦車がまた来るの？」と聞いた。姉は真顔になって、「〃原爆〃は空襲の爆弾のことではないヨ。爆弾一発でその町に住んでいる人が一度に沢山死んでしまう恐ろしい爆弾のこと、生き残っても身体中に大火傷して、とても苦しむの、日本にもその原爆落とされたんだヨ」と答えた。

広島・長崎の原爆投下と「第五福竜丸」乗組員の被爆

「原爆が日本にも落とされた」と聞いて驚く幼子に、姉は続けて「平塚が空襲にあった少し前に広島と長崎という所に、アメリカが〃原爆〃を落としたの。その原爆のことを（ピカドン）といって、ピカッと光ったかと思ったら一度に沢山の人が焼け死んでしまったの、大火傷をして生き残った人も、原爆の毒で原爆病にかかったりして、とても恐ろしい爆弾だよ」と原爆の恐ろしさを話した。

1954年、ビキニ環礁で日本の漁船「第五福竜丸」がアメリカの核実験の犠牲になって被爆、ラジオから流れるこのニュースに大人達の顔は引きつり、日本の船が原爆によって犠牲になったと教えられた幼子は今にもここに原爆が落とされるのではないかと、恐ろしさに震えだ。まだテレビもなかった時代、ラジオのニュースは映像以上に事の重大さを幼い心にも伝えていた。「戦争が来る」と心から思った。

今後の活動予定

- 新年会**：2012年1月14日(土)12時～14時、平塚YWCAにて、会費1,000円。
新年の決意
懇親会(ピアノつき、歌集もあります。全員でうたいましょう)
- 宣伝活動** 2012年1月9日(月)成人の日 12:30-13:30 総合公園体育館前。
ビラ配布、署名運動。是非ご協力をお願いします。
- 例会**：2012年2月4日(土)10時～12時 JAビル市民活動センターにて